



社会福祉法人
対馬市社会福祉協議会

〒817 1201 長崎県対馬市豊玉町仁位94 5
TEL 0920 58 1432 FAX 0920 58 1183
E-mail tsushima-syakyo@oregano.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www.tsushima-shakyo.jp/>
(対馬市社会福祉協議会で検索してください。)

社協だより



福祉のまちづくり こどもセミナー開催!



3月1日、対馬市公会堂で、「福祉のまちづくりこどもセミナー」が開催されました。これは、対馬市社協と豊玉地区ふれあい学習推進協議会の共催で、豊玉町内の小・中学生、高校生、保護者、地域の皆さんが集まり、「こどもたちが住みつづけたいまちづくり」についてパネルディスカッション形式により意見が交わされました。このイベントにより、こどもたちがさらに地域を見つめ直し、福祉のまちづくりを考えるきっかけづくりになったようです。

今回の主な内容	
福祉作品展	2
各種募金実績報告など	3
トピックス	4
ボランティアコーナー	5
御寄付御礼	7

この広報誌は、皆様から寄せられた会費並びに共同募金配分金で作られています。

福祉作品展

対馬市社会福祉協議会では、昨年に引き続き、福祉について考えるきっかけづくりを目的として、福祉作品展を開催いたしました。

作品展には、市内の小・中・高校生が冬休みに作成した福祉についての絵画・ポスター・作文・標語が500点以上も寄せられました。

どの作品も力作ばかりでしたが、厳正な審査の結果、次のとおり入選作品が決定いたしました。

これらの作品は、2月9日～3月8日まで、各地区の展示会場で披露され、多くの皆様にご来場いただきました。またこの作品展には市内の福祉施設からも、利用者が作成された作品が展示されるなど、昨年以上に内容の充実した作品展となりました。



ポスター

最優秀賞	東小学校	6年	山坂	貴大さん
優秀賞	仁田小学校	2年	春田	菜里さん
佳作	東小学校	6年	古藤	友里さん
	東小学校	6年	廣田	奈納さん
	東小学校	6年	山坂	優大さん



最優秀賞 東小学校 山坂貴大さんの作品

絵画

最優秀賞	東小学校	6年	小田	剛士さん
優秀賞	鶏鳴小学校	3年	藤	美風さん
佳作	厳原北小学校	2年	日高	健仁さん



最優秀賞 東小学校 小田剛士さんの作品

標語

●小学校低学年の部

優秀賞

「親切はしてもまれてもいい気持ち」
久田小学校 3年 国分 祭さん

優秀賞

「やさしいことしてもまれてもいい気持ち」
金田小学校 3年 稲留 耀さん

佳作

「きこえないばくがかわりにきいてやる」
豆酸小学校 1年 阿比留翔太さん

「わらってるといっしょにわらうとうれしいな」
南陽小学校 3年 中岡 萌さん

●小学校高学年の部

最優秀賞

「あいさつは気持ちを変えるまほうの言葉」
豊玉小学校 4年 下柳莉佳子さん

優秀賞

「友達とつなぐ手いつか大きな輪」
美津島北小学校 5年 阿比留華澄さん

「あいさつは人の心をつなぐ橋」
豊玉小学校 4年 鳥居 大輝さん

佳作

「心にもバリアフリーを大切に」
久田小学校 4年 上野 優香さん

「ボランティアやれば笑顔の花がさく」
比田勝小学校 6年 黒岩 隼太さん

●中学校の部

最優秀賞

「あいさつをかわしてひろがる心の輪」
豊玉中学校 2年 阿比留貴文さん

優秀賞

「やってみよつできることからボランティア」
今里中学校 2年 濱本 渚さん

佳作

「ありがとう生まれてきたこと生きること」
豊玉中学校 3年 中屋栄一朗さん

「温かい福祉の心大切に」
南陽中学校 1年 米田真之介さん

●高校の部

優秀賞

「あなたからみんなにひろがるありがとう」
対馬高校 3年 鶴岡奈都希さん

作文

●小学校低学年の部

優秀賞

「もつとつ犬」
厳原小学校 1年 白井 孔喜さん

優秀賞

「わたしの思い」
豊玉小学校 3年 中嶋 美和さん

優秀賞

「ボランティア活動」
東小学校 6年 永留 拓弥さん

佳作

「ボランティア活動をおして」
南陽小学校 6年 末永 絢音さん

「わたしの思い」

豊玉小学校 3年 中嶋 美和



代表して 豊玉小学校 中嶋美和さんの作文を紹介します

わたしには、大好きなおじいちゃん、おばあちゃんがあります。やさしいえがおで話しかけてくれます。でも、最近では体の調子をよくくずしています。そんなおじいちゃん、おばあちゃんを近くで見えてきて、ある思いがうまれてきました。何かでおじいちゃん、おばあちゃんの役に立ちたい。その思いはどんどん大きくなり、わたしのゆめへとかわっていききました。ふと思いついたのは、ヘルパーさんの心からの笑顔でした。小さなころうじんホームをおとすれた事があります。その時におじいちゃん達と楽しそうにわらっているヘルパーさんのとびきりの笑顔がとてもいんしょうでわすれられませんでした。わたしはこんな人は幸せそうに笑うんだ...と思うと同時に、わたしもおじいちゃん達を笑顔にさせたいと思いました。その時から、ヘルパーさんを目指すようになりました。今からできる事は、だれとでもえがおではなすことだと思えます。なのでこれからの生活では毎日えがおですごすことを心がけたいと思います。人をえがおにさせることはとてもむずかしいことだと思えます。わたしはゆめをかなえるために必死でおいかけていきたいです。

平成20年度 各種募金実績報告

～市民皆様のご支援・ご協力ありがとうございました～

皆様からお寄せいただいた募金は、国内外における災害救護や献血体制の整備、また、ボランティア事業や地域の福祉活動に役立てられています。

今後とも、各種募金運動に対する市民皆様のご理解をお願いいたします。

日本赤十字社長崎県支部対馬市地区長
長崎県共同募金会对馬市支会長

＋平成20年度 日本赤十字社社資募集実績(対馬市全体)＋

目標額	実績額	達成率
4,544,000円	4,026,061円	88.6%

●平成20年度 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金実績(対馬市全体)●

(単位:円)

募金種別	赤い羽根共同募金	歳末たすけあい募金
戸別募金	4,803,237	1,722,505
街頭募金	0	0
法人募金	126,800	131,981
学校募金	9,899	44,003
職域募金	113,346	0
イベント募金	38,800	0
その他	373,100	167
合計	5,465,182	1,898,656
目標額	6,155,000	1,866,000
達成率	88.8%	101.8%



各学校からも
たくさんの募金を
いただきました



久田小学校の皆さんからのあたたかい募金に感謝いたします



豊玉小学校の皆さんありがとうございました

5月は「赤十字運動月間」です。

今年も、5月1日～31日にかけて、全国一斉に赤十字運動が展開されます。

この期間中、対馬市地区では災害救助、献血事業、看護師養成、国際救援活動などに役立てるため、各区長様のご協力を得て社資募集を行う予定です。

つきましては、市民の皆様には赤十字の事業にご賛同いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。



対馬市民ボランティア連絡協議会 設立準備委員会 開催！



対馬市社会福祉協議会ではこれまで、各支所においてボランティアセンターを併設し、ボランティア活動についての相談、登録、斡旋、情報提供などをおこなってきましたが、今後、市内でボランティアや市民活動を行っている団体や個人のネットワークを築くことにより、お互いの交流や連携を深め、共に助けあいながら、「誰もが住みやすい対馬(しま)づくり」を推進することを目的とした、『対馬市民ボランティア連絡協議会』の設立に向け、2月6日 第1回目の設立準備委員会を開催いたしました。

設立準備委員会は、今後数回開催が予定されており、3月20日には、『対馬市民ボランティア連絡協議会』が設立される予定です。



連絡協議会設立には、
県民ボランティア活動支援センター
岩永センター長にも
参画していただいています。

ワークショップでの1コマ。
各委員さん方より活発な意見が
出ました。



「やまねこ体操」で元気に過ごしましょう!!

2月9日、卯麦多目的集
施設において、高齢者の方
がいつでも健康にいられるこ
とを目的とした、健康教室が
開催されました。

健康教室では、市健康推進
課の田中歯科衛生士による歯
の健康を保つ講話や、舌や口
の働きをよくする為の運動が
紹介されると、参加された皆
さんは、指導通りに大きく口
をあげたり舌を動かしたりし
ながらも、熱心にその講話に
耳を傾けていらっしゃいました。

その後、同課 須川保健師
からは高齢者の転倒予防を目
的として考案された「やまね
こ体操」の実演やゲームが行
われるなど充実した1日にな
ったようです。

健康教室

卯麦老人クラブ



廻地区で A E D を整備



豊玉町廻地区では、この度、区の予算で A E D (自動体外式除細動器) が整備されました。

廻地区は、豊玉町の西端に位置し、地理的に救急搬送の際には時間を要することから、地域の懸案事項でありましたが、「地域の生命は地域で守る」との住民皆様の思いから、日本赤十字社長崎県支部を通じて A E D を購入されたものです。

また、この A E D の整備とあわせて廻地区では、対馬市消防署豊玉出張所の職員を講師に招き、救急救命法や A E D の操作講習も行われました。

区長の阿比留善常さんは、「将来的には区で A E D をあと 1 台整備したいと考えていますが、このことをきっかけにして他の地区でも廻のように A E D が普及していくといいですね。」と話していました。



AEDの整備にあたり実施された講習会の模様



参加者全員でのゲームは盛り上がりました



A E D は誰でも使えるように公民館に設置されました。

ボランティア活動紹介

ボランティアのページ



ボランティアグループ

対馬で映画を観ることを広める会

対馬で映画を観ることを広める会（以下 映画の会）は対馬市交流センター内のイベントホールの映画機能の活用と映画文化を市民に広めるために、平成19年5月から毎月、映画上映を続けています。

映画の会は、映画の損益に関係なく配給元に会場を提供し、上映映画のPR・会場受付・映画の選定、そして映画の会独自の自主上映を行っています。このように無理のない運営を行うことができたのは、厳原ショッピングセンターを始め、多くの関係者の皆様からご協力をいただいたお陰で、厚くお礼申し上げます。

さて、平成19年に行った一般映画の上映は18本、そして自主映画として「手紙」の上映を行い、涙や勇気、笑いを誘うことができました。結果として5,700人の多くの方々に観ていただくことができました。

しかしながら、順調に進んだ映画上映も3ヶ月間入場者の不足により、2ヶ月間の休止を余儀なくされましたが、昨年10月の「花より男子F」、「ポケモン」が大盛況でひと安心しました。

このことから、毎月の上映にこだわらず上質の映画を提供することの大切さを悟った次第です。

今後とも市民皆様との連携やご協力をお願いし、対馬から映画の火を消さないよう努力していくつもりですので、よろしくお願いいたします。



「対馬で映画を観ることを広める会」 からのお知らせ

ボランティアスタッフ募集中!

私たちといっしょに、映画を広げませんか？
スタッフはこんなことをやります。

上映前は…

簡単な打ち合わせ
映画の宣伝に、割引券やチラシ、ポスターなどを配ります。



上映当日は…

映画の受付で、元気に挨拶をします。(当番制)
チケットを切ったり、スタンプを押します。
上映終了後、ホールの中を見回ります。



上映後は…

反省会やお疲れさん会をします。



特典

映画が無料で見られます。(スタッフならで!)



お問い合わせは、090 5742 0639(担当:カギモト)まで、
お気軽にどうぞ。ぜひ、観に来てね!(^^)/



シネマカード

シネマクラブ会員制度を廃止し、スタンプカードに切り替えます。10個スタンプがたまると1回が無料になりますので、ご家族、友達でご利用下さい。

例：家族5人が2回利用すると10ポイントとなり、1人が無料となります。



ご入場の際1人につき1個を捺印いたします。(招待券を除く)
スタンプが10個たまると、このカードを招待券として次回ご利用頂けます。
(有効期限はありません)

ご存知
ですか？

厚生労働省「認知症を知り地域をつくる」キャンペーン

認知症サポーター100万人キャラバン

対馬地域リハビリテーション広域支援センター
(対馬いづはら病院リハビリテーション科)

井川吉徳



「痴呆」から「認知症」へ

認知症は誰にも起こりうる脳の病気によるもので、85歳以上では4人に1人にその症状があるといわれています。現在は169万人ですが、今後20年で倍増することが予想されています。

認知症の人が記憶障害や認知障害から不安に陥り、その結果まわりの人との関係が損なわれることもしばしば見られ、家族が疲れ切って共倒れしてしまうことも少なくありません。しかし、周囲の理解と気遣いがあれば穏やかに暮らしていくことは可能です。

そのためには地域の支え合いが必要です。だれもが認知症についての正しい知識をもち、認知症の人や家族を支える手だてを知っていれば「尊厳ある暮らし」をみんなで守ることができます。

2004年12月、「痴呆」から「認知症」へと呼称が変更されましたが、この背景には「痴呆」は侮蔑的で、高齢者の尊厳を欠く表現であること、その実態を正確に表していないこと、早期発見・早期診断等の支障となっていること、それらが認知症対策の取り組みへの障害ともなっているなどの現状があります。

この変更を契機として、みんなで認知症の人とその家族を支え、誰もが暮らしやすい地域をつくっていく運動「認知症を知り地域をつくる10ヵ年」のキャンペーンが始まりました。

このキャンペーンの一環である「認知症サポーター100万人キャラバン」では、認知症を理解し、認知症の人や家族を見守る、認知症サポーターを一人でも増やし、安心して暮らせる町づくりを市民の手で展開していきます。認知症サポーター養成講座標準教材より引用

認知症サポーターとは

「認知症サポーター養成講座」を受けた人が「認知症サポーター」です。とくに認知症サポーターには何か特別にやってもらえるものではありません。認知症を正しく理解してもらい、認知症の人や家族を温かく見守る応援者になってもらいます。そのうえで、自分のできる範囲で活動できればいいのです。たとえば、友人や家族にその知識を伝える、認知症になった人や家族の気持ちを理解するよう努める、隣人あるいは商店・交通機関等、まちで働く人として、できる範囲で手助けをする、など活動内容は人それぞれです。

認知症サポーター養成講座

認知症サポーター養成講座は、キャラバンメイト(認知症サポーター養成講座の講師)が中心となって、教材等を利用しながらお話をさせていただきます。現在対馬市には、キャラバンメイトは5名登録されています。講座の内容は、「認知症サポーター100万人キャラバンとは」・「認知症とはどういうものか」・「認知症の人と接するときの心がまえ」・「認知症サポーターとは」等について、約90分の講座内容を予定しておりますが、講座時間、内容については、対象者に合わせて変更・調整が可能です。

認知症サポーター養成講座についてもっと詳しく知りたい方、また養成講座を希望する団体、サークル等がありましたら、社会福祉協議会 地域福祉班または、認知症サポーター養成講座事務局である対馬市地域包括支援センター(電話:0920 58 1117)【事務局 小島】にお問い合わせ下さい。

貸付には条件等がございますので、詳細は社協 地域福祉班または、お近くの各支所へお訪ねください。

・高齢者や障がい者のための住宅改造など

高齢者・障害者住宅整備資金

・生業を営むための経費
・技能を取得するために必要な経費など

・災害を受けた時の復旧費用など

・介護保険制度に要する費用など

・療養・介護等資金
・1年以内の療養費用やその間の生活費など

・入学時の支度費用など

修学資金

・高校以上の進学に必要な費用
・高齢者・障害者住宅整備資金との併用も可能です。

住宅資金

・住宅の増築、改築などの費用
・高齢者・障害者住宅整備資金との併用も可能です。

・引越しのための経費

・障がい者のための自動車購入費

・就職に際し、必要な支度費用など

福祉資金

・冠婚葬祭など急な家庭の経費

・障がい者や高齢者のための用具購入費

生活福祉資金

貸付制度

社会福祉協議会の



御寄付御礼

社会福祉の推進のために、多くの方々から心温まる善意のご寄付をいただきました。ここに、ご芳名（敬称略）を掲載し、謹んで亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

お寄せいただきました寄付金等は、各種福祉事業や地域福祉活動の推進のために、活用させていただきます。

誠にありがとうございます。（平成20年11月1日～平成21年1月31日受付分）

上対馬地区

- 古藤 好郎(舟志) (亡・古藤 秀雄)
- 宮本 光明(河内) (亡・宮本 初枝)
- 古藤 薫(五根緒) (亡・古藤 千代子)
- 小茂田 幸平(鰐浦) (亡・小茂田 耕一)
- 武本 正範(芦見) (亡・武本 道子)
- 財部 好彦(西泊) (亡・財部 光江)
- 犬束 和明(西泊) (亡・犬束 正枝)
- 小茂田 俊光(鰐浦) (亡・小茂田 文子)
- 古藤 好久(舟志) (亡・古藤 良雄)
- 畑島 正博(網代) (亡・畑島 義範)
- 庄司 嘉博(琴) (亡・庄司 武雄)

上県地区

- 佐護 治道(佐護) (亡・佐護 慶)
- 武田 茂嘉(佐須奈) (亡・武田 美恵子)
- 日高 嘉郎(佐須奈) (亡・日高 力三)
- 永留 祥江(佐護) (亡・小宮 信輔)

峰地区

- 山下 前(志多賀) (亡・山下 繁子)
- 多田 壯一(賀佐) (亡・多田 歌)
- 清水 英智(志越) (亡・清水 秀義)
- 阿比留 一(佐賀) (亡・阿比留 イマ)
- 浜辺 哲也(三根) (亡・浜辺 愛子)

豊玉地区

- 国分 ツギ工(貝口) (亡・国分 秀敏)
- 斉藤 忠光(横浦) (亡・斉藤 忠良)
- 横瀬 敬子(横浦) (亡・横瀬 将)
- 阿比留 英一(貝鮎) (亡・阿比留 道子)

美津島地区

- 藤 成雄(雞知) (亡・藤 幸子)
- 吉嶺 博幸(雞知) (亡・吉嶺 要)
- 河本 節子(今里) (亡・河本 孟子)

巖原地区

- 篠崎 輝男(田淵) (亡・篠崎 一夫)
- 原 田 秀信(中村) (亡・原 田 キクエ)

一般寄付

- 三原 叶也
- 梅野 和良
- 中島 三男
- たのしみ会
- 対馬市パークゴルフ協会

- 米田 礼次郎(日吉) (亡・米田 信頼)
- 小原 梅代(西里) (亡・小原 久)
- 阿比留 繁蔵(田淵) (亡・阿比留 好子)
- 原 田 登(南室) (亡・原 田 喜久)
- 角屋 百合子(久田) (亡・角屋 光義)



～長崎県共同募金会から福祉機器が配分されました～

このたび、長崎県共同募金会より福祉機器として、AED 1台と車いす 15台が配分されました。

これは、平成20年度歳末たすけあい運動に寄せられた皆様からの募金によって配分いただいたもので、このうちAEDは万が一の際の救命機器として、一方、車いすは本会が実施いたします「福祉出前講座」での指導用機器や貸出用等として活用させていただきます。

- 配分内訳 AED・・・1台（配備先 上県支所）
 車いす・・・15台（配備先 本所・巖原支所・美津島支所に各5台ずつ配備）





お知らせ

● 今月の相談事業開催日 ●



心配ごと相談

月日	場所	相談員氏名	相談内容
3/17 (火)	上対馬町地域福祉センター	三原 叶也 佐伯 繁	障がい相談
3/24 (火)	対馬市交流センター 3階第4会議室	村岡 月子 山崎 一宏	よろず相談

* 相談の時間は、午後1時から午後4時まで。
* 相談の受付は、当日会場で先着順になります。

無料法律相談

月日	会場	弁護士	
3/18 (水)	峰町保健福祉センター	廣部 俊介	ひまわり基金法律事務所

* 開催時間は、午後1時～午後4時まで。
* 相談を希望される方は、必ず事前(前日の午後4時まで)に予約をお願いします。



あいさつ+1(プラスワン)コーナー



昨年11月に豊玉町管内で実施いたしましたあいさつ+1(プラスワン)運動のアンケートのなかで、あたたかいメッセージをいただきました。

朝、明るいあいさつを受けると、その日一日がなんとなく楽しく過ごせるような気がします。

あいさつは人間社会で、最も大切な行動だと思います。以前(若い頃)あいさつは、「あかるく」・「いつでも」・「さいしょに」・「つけたして」するものだという事を聞いたことがあります。なるべくそうなるよう努力しましたが、自分自身、その日の気分できませんでした。

あいさつは習慣だと思います。1~2回の呼びかけで身につくものではありませんが、素晴らしい取り組みですので、今後も続けて欲しいものです。



自由 新入生、新入社員、進級、進学、初心者マーク、新年度...「心機一転」何かに挑戦する春。

に 「夢は見るモノではなく叶えるモノ。」
「目標は掲げるモノではなく達成するモノ。」
これは、偉大なる学者が言ったと言わなかったとか。

イ 何かにつけても「4月」は節目です。
何かを始めるにも何かに挑戦するにも絶好の節目です。



- 4月から...
- 料理を始めて、5月の母の日に披露するもよし。
- 天気の勉強を始めて、6月の雨を当てるもよし。
- ジョギングを始めて、7月の国境マラソンを目指すもよし。
- ダイエットを始めて、8月の海で水着を披露するもよし。
- 貯金を始めて、9月の大型連休に家族旅行をするもよし。
- 山歩きを始めて、10月の山菜を食すもよし。
- 書道を始めて、11月の文化展に出品するもよし。
- 油絵を始めて、12月の荒れた海を描くもよし。
- 写真を始めて、1月の元旦の日の出を狙うもよし。
- 寒風摩擦を始めて、2月のインフルエンザに打ち勝つもよし。
- 受験勉強を始めて、3月の合格発表でサクラサクもよし。

時の流れは早いです。
「あっと言う間の1年だった」と思う事が多々あります。
同じ時を過ごすなら、同じ時間が与えられているなら、有意義に充実した時間の使い方が出来るなら、ステキな1年になるのかな?
何かに挑戦する2009年4月...
「一年の計は元旦にあり」改め「一年の計は4月にあり」
結果はどうあれ、まずは挑戦する気持ちが必要です。



読者の皆さんの声をお聞かせ下さい

社協に関する質問・疑問等どんな事でも結構ですので、下記宛にご連絡ください。

連絡先

TEL 0920 58 1432

FAX 0920 58 1183

E-mail tsushima-syakyo@oregano.ocn.ne.jp